

フードドライブを実施しています！

「フードドライブ」とは？

家庭で買い過ぎて食べきれなかったり、贈答品で余ってしまった未利用食品を持ち寄り、必要としている個人や団体などに寄付する活動のことです。区に集まった食品は、フードバンクを通じて必要な方に届けられます。

受付場所	中央区役所 本庁舎7階 環境推進課	日本橋 特別出張所1階 地域活動係	月島 特別出張所1階 地域活動係	中央清掃事務所 2階窓口 (来客用駐車場は ありません)
受付日時	月～金曜日(祝日・休日および年末年始は除く) 午前8時30分～午後5時			

<お持ちいただきたい食品>

- 家庭から出た、
生鮮食品以外の常温保存が可能なもので、
- 賞味期限が持参日から2カ月以上先、かつ
- 包装や外装が破損・汚損していない未開封の
下記のもの

☆缶詰、インスタント・レトルト食品、調味料、嗜好品、
飲料(アルコール類を除く)、乳児用食品、健康食品 など

※塩・砂糖は未開封であれば、賞味期限の表示がなくても構いません。

米は精米日から1年10カ月以内であれば構いません。

**注:お店や会社から出た食品、会社・マンションなどで備蓄している
防災備蓄食料は、受付をしております。**



問合せ先 : 中央清掃事務所清掃事業係 ☎(3562) 1523
中央区京橋1-19-6

食品ロスって何？

環境省・農林水産省「食品廃棄物等の利用状況等（平成30年度推計）〈概念図〉」より

日本の食品ロス年間発生量



まだ食べられるのに、捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。

合計600万トン

=



これは日本人1人当たり、毎日お茶碗約1杯分（約130g）の食べ物を捨てていることになります。

区では「食品ロス」を削減し、食品の有効利用を図るため、「フードドライブ」の受付窓口を設置しています。

家庭から出る「食品ロス」が、全体の半分近くを占めています。食品を買い過ぎない、使い切る、食べ残さない、余った食品を寄付するなど、ご家庭でも「食品ロス」を減らす取り組みを始めてみませんか。

フードドライブの流れ



家庭でできる取り組み

☆食材を「買い過ぎず」「使い切る」「食べきる」

☆残った食材は、別の料理に活用する

☆外食時に食べ残しをしない

☆「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解する

消費期限	賞味期限
長く保存がきかない食品 (弁当、ケーキなど)	傷みにくい食品 (カップ麺、缶詰など)
未開封で、保存方法を守った場合「安全」に食べられる期限	未開封で、保存方法を守った場合「おいしく」食べられる期限